

発熱・風邪症状のある研修・実習生の 行動フロー

発熱（37.5℃以上）

or

風邪症状

咳・痰・鼻汁
咽頭痛・頭痛
倦怠感・呼吸苦
味覚障害・嗅覚障害
目の痛み・結膜充血
嘔気/嘔吐・下痢

* 風邪症状は
「通常とは異なる」かどう
かを各自が判断すること

学校へ報告

研修・実習生
受け入れ職場の
責任者へ報告

- ・ 自宅の場合：
自宅待機
- ・ 職場の場合：
帰宅、または受診

当院の「発熱・感冒外来」
を受診する

- ・ 土日/休日にも受診可能。
 - ・ 受診する際は、自宅から
8:30~9:00の間に外来へ電話連
絡する。
- ※電話する際は、必ず当院で研修・
実習中であることを申告する。

研修復帰

- ・ 解熱かつ発熱以外の症状が消失し
た時点で受け入れ職場の責任者に報
告し、状況確認のもと研修・実習可
の指示を受ける。
- ・ 症状が3日以上継続する場合は、再
度受診する。

* 研修・実習再開後3日間は感染対策
上、職場責任者は研修・実習内容や
方法に配慮し、健康観察を徹底する。

- 来院前を含めて毎日、朝・夕一日2回体温測定と風邪症状の有無を確認して結果を「健康観察シート」へ記録しておく
- フローに該当する場合で、休日・夜間の場合は、翌日の研修・実習日の朝に、受入れ部署の責任者に連絡する